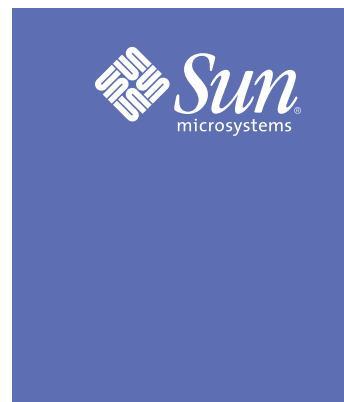


Sun Java™ System Identity Synchronization for Windows 1.0

SunとMicrosoftのディレクトリ・サービス環境間で
認証属性のシンクロナイズを実現



Key feature highlights

全てのコンポーネントに対してセキュアな接続を行入、高い可用性と信頼性を持つメッセージ・バスを基にしたアーキテクチャ

Microsoft Active Directoryとの統合を効率良く行えるアーキテクチャ

エン트리と属性値の双方向シンクロナイズは、どちらか一方、あるいは双方のディレクトリへの同調が可能

優れた選択処理機能により、必要に応じ、サブセット・ユーザのみのシンクロナイズにも柔軟に対応
ネットワーク・トラフィックはSSL(セキュア・ソケット・レイヤ)にて保護。全ての情報は3DES暗号鍵にて暗号化

SunおよびMicrosoftディレクトリ両方のパスワード・ポリシーを残存させることが可能

エンタープライズのアプリケーションとネットワーク・オペレーティング環境では、共通性のない、異なった情報セキュリティ・モデルを採用している場合が数多く存在し、その冗長した管理運用業務が生産性の向上を阻んでいます。簡素化された認証プロセスは、エンタープライズ環境に大きなゆとりをもたらします。複数のエンタープライズ・アプリケーションを利用するユーザは、各々のアプリケーションが各々異なる認証機構を持っている事実と直面しています。たとえば、Microsoft WindowsアプリケーションであればMicrosoft Windowsのネイティブ認証機構によりコントロールされ、また、エンタープライズのWebベースのアプリケーションへのアクセスはSun Java™ System Directory Server(旧Sun™ ONE Directory Server)向けのLDAP(Lightweight Directory Access Protocol)であつたりします。

エンタープライズのユーザはログイン・ポリシーに則る必要があり、最低でも定期的なパスワードの変更などを強いられます。アプリケーションはそれぞれ異なる承認機関で統制をとられているため、ユーザは異なる認証環境毎に異なるパスワードの入力が必要になります。理想を言えば、エンタープライズのユーザは1つのパスワードのみを持つべきです。そしてユーザがパスワード変更などを行った場合は、全てのアプリケーションの間で更新がおこなわれるよう、ユーザに対する配慮があるべきなのです。

Sun Java System Identity Synchronization for Windows(旧Sun ONE Identity Synchronization for Windows)は、パスワードをはじめ、氏名、勤務地、住所、電話番号、Eメールアドレス、従業員番号、所属部署番号など、ユーザの認証属性値を、Microsoft Windows NTやMicrosoft Windows 2000 Active DirectoryとSun Java System Directory Server間でシンクロナイズ(同調/同期)させるソフトウェア・ソリューションです。

Java System Identity Synchronization for Windowsソリューションでは、それぞれのアプリケーションやディレクトリ環境固有のログイン機構は従来そのまま引き続き利用いただけます。

1つのディレクトリ環境においてユーザがパスワードや電話番号などの属性値を変更した場合、新しい値は即座に、そして自動的に他の認証機構にも伝搬されます。Microsoft Windowsディレクトリのア

アプリケーションへのアクセスや変更を加える必要性はありません。また、Java System Directory ServerとMicrosoft Windows 2000 Active Directory間でJava System Identity Synchronization for Windowsソフトウェアをご利用いただく場合でなら、Microsoft Windows環境にコンポーネントを追加する必要は一切ありません。

アーキテクチャ概要

Java System Identity Synchronization for Windowsソフトウェアは、Java System Directory ServerとMicrosoft Windows 2000 Active Directory(AD)、そしてMicrosoft Windows NT Security Account Manager(SAM)Registryとの間で双方向に、パスワードおよびその他の属性値をシンクロナイズします。

Java System Identity Synchronization for Windowsソフトウェアを使えば、Java System Directory Serverと、Microsoft Windows 2000 Active DirectoryやMicrosoft Windows NTの間で、認証属性値は自動的にシンクロナイズすることが可能です。

ユーザが、Java System Directory ServerやMicrosoft Windows 2000 Active Directory、もしくはMicrosoft Windows NTを利用しているアプリケーションにアクセスする際、ログイン認証には1つのパスワードだけで可能になります。また定期的なパスワード更新も、どれか1つの環境で1度パスワードを更新するだけで済むようになります。Java System Identity Synchronization for Windowsソフトウェアは、コネクタを含む一連コンポーネントで構成されています。各々のコネクタは、Java System Directory Server、Microsoft Windows 2000 Active Directory、そしてMicrosoft Windows NT間で認証属性値のシンクロナイズを図ります。

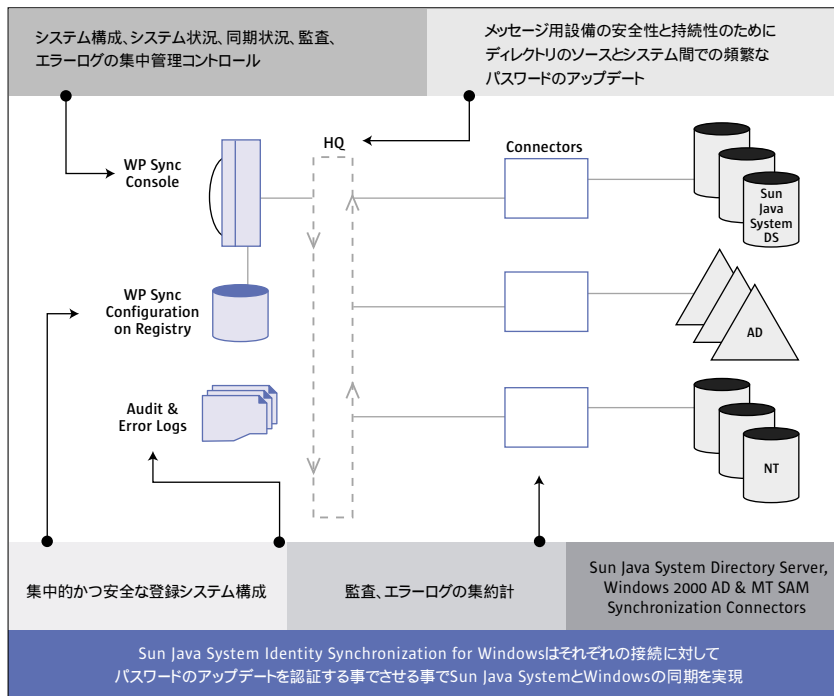
コネクタ・インタフェースは、直接1つ以上のディレクトリやドメインに接続し、ディレクトリ/ドメイン・インスタンス間でパスワードの更新を司ります。コネクタは互いにセキュアな接続維持性をもったメッセージ・バスを通して通信を行います。

ユーザがJava System Directory ServerもしくはMicrosoft Windowsディレクトリ環境のどちらで認証属性値を変更しても、Java System Identity Synchronization for Windowsソフトウェアは即座に、ディレクトリ間で変更を伝搬します。パスワード更新はMicrosoft Windowsインタフェース(たとえばCtrl-Alt-Deleteなど)や、お使いのオペレーティング環境に準じたインタフェースで従来どおり行うことが可能です。

管理

Identity Synchronization Consoleは、システム管理者による、Identity Synchronizationコンポーネントの集中管理を可能にします。たとえばディレクトリ・サーバのホスト・ネーム、LDAPのSSL(セキュア・ソケット・レイヤ)ポート、そしてアクセス証明書などをコンソール経由でダイナミックに更新が可能です。続いて、このコンフィグレーション情報は自動的に各コネクタへ配信され管理下の特定のディレクトリに反映されます。

Java System Identity Synchronization for Windowsソフトウェアは、Java System Directory ServerとMicrosoft Windowsディレクトリ(Microsoft Windows 2000 Active DirectoryまたはMicrosoft Windows NT Security Account Manager)のユーザ・エントリの間で、ユーザ名を利用して認証属性値のシンクロナイズを行えます。もちろん、ディレクトリ中の全てのエントリをシンクロナイズしたくない場合などにも柔軟に対応します。このようなケースではJava System Identity Synchronization for Windowsソフトウェアは、システム管理者に、それぞれのディレクトリの中からシンクロナイズを行いたいユーザ・エントリを選択していただけます。また、Identity Synchronization Consoleはシステム管理者に、システム・ステータスやプロダクト・ステータスを、そして同様に、シンクロナイズされた全てのディレクトリのエラーログや監査ログを集約した状態で提供します。これらのログはサードパーティのレポート作成ソフトウェアでもご利用いただけます。



実装
Java System Identity Synchronization for Windowsソフトウェアは、既存のインフラストラクチャへの影響を最小限に抑えるため、実装におけるすぐれた柔軟性を備えています。例えば、Java System Directory ServerとMicrosoft Windows 2000 Active Directoryのそれぞれのコネクタはネイティブのディレクトリ環境へインストールしたり実行させる必

要はありません(Microsoft Windows環境でActive Directoryコネクタを実行させる必要はありませんが、リモートのSolaris™システムへはインストールされる場合があります)。Microsoft Windows NT Security Account Managerコネクタは、Microsoft Windows NT環境下のWindows NT Primary Domain Controller(PDC)へインストールされます。

Java System Identity Synchronization for Windowsの主な機能

機能	詳細
双方向パスワード・シンクロナイズ	Java System Directory ServerとMicrosoft Windowsとの間で、一方向もしくは双方向にパスワードのシンクロナイズが可能
双方向ユーザ・エントリ・シンクロナイズ	Java System Directory ServerとMicrosoft Windowsとの間で、一方向もしくは双方向にユーザ・エントリのシンクロナイズが可能
パスワード変更	パスワード更新は: ・ Microsoft Windows環境ではCtrl-Alt-Deleteを使用 ・ LDAPが使用可能な環境ではパスワード変更アプリケーションを使用
セキュア・パスワード・シンクロナイズ	Java System Identity Synchronization for Windowsソフトウェアは、シンクロナイズを実行している間、パスワードを含むすべての認証属性値をプロテクトします。ネットワーク・トラフィックはすべてSSLでプロテクトされ、露呈してはならない情報は、ディスクに書き込まれるまで3DES暗号鍵で暗号化されます。
既存導入済みディレクトリとの互換性	Java System Identity Synchronization for Windowsは、導入済みディレクトリのユーザ・エントリをシンクロナイズ可能。既存のJava System Directory ServerとMicrosoft Windowsディレクトリ環境に同じユーザが存在していたとしてもシンクロナイズは可能です。システム管理者は同梱されているツールを使い、既存ディレクトリ中のユーザ間でリンクを設けます。
パスワード・ポリシー	Java System Identity Synchronization for Windowsソフトウェアは、どのようなディレクトリ環境のどのようなパスワード・ポリシーも変更することはできません。
実績のある、親しみやすいコンソール	Java System Identity Synchronization for Windowsは、Java System Identity Server(旧 Sun ONE Identity Server)でご利用いただいていた標準コンソールを利用しています。
集中管理されたコンフィグレーション	システム管理者は1ヶ所から、ディレクトリのネットワーク情報やアクセス資格を含むすべての実装環境のシンクロナイズを行うことが可能です。
コンフィグレーションの自動伝搬	1人のシステム管理者で、ディレクトリ、ネットワーク情報、そしてアクセス資格など全ての実装環境のシンクロナイズを1ヶ所から行うことが可能です。
集中管理	1つのJava System Identity Synchronization for Windows下に実装された全ての環境は、たとえそれが複数の地域に分かれて実在していたとしても、監視制御を1ヶ所から行うことが可能です。
集約ログ	全てのコンポーネントのログは自動的に1つのログに集約されます。システム管理者は、Java System Identity Synchronization for Windows中のどのコンポーネントで発生したエラーも、この集約されたログで監視することが可能です。Identity Synchronization Consoleを利用により、この監視はログが実際に蓄積されている場所でもリモート環境下からでも可能です。

Sun Java System Identity Synchronization for Windows 1.0

Java System Identity Synchronization for Windows 導入オプション

構成	要件
Java System Directory Server と Microsoft Windows 2000 間での属性値のシンクロナイズ	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windowsへは、Java System Identity Synchronization for Windowsのどのようなコンポーネントもインストールする必要はありません • 1つのJava System Identity Synchronization for Windows コネクタで、複数のMicrosoft Windows 2000 Active Directoryドメインをサポートします
Java System Directory Server と Microsoft Windows NT 間でのパスワードのシンクロナイズ	<ul style="list-style-type: none"> • 軽量のJava System Identity Synchronization for Windowsサブコンポーネントを、シンクロナイズする全てのMicrosoft Windows NTドメインのPrimary Domain Controllerへインストールする必要があります • Windows NT Identity Synchronizationコネクタを、Primary Domain Controllerを除くMicrosoft Windows NT環境へインストールする必要があります

プラットフォームとシステム要件

オペレーティングシステムとプラットフォーム

- Solaris 9オペレーティングシステム(SPARC®版)
- Solaris 8オペレーティングシステム(SPARC版)
- Microsoft Windows 2000 ServerおよびAdvanced Server SP2(Pentium IIもしくは以降のIA-32プロセッサ版)
- Microsoft Windows NTおよびNT SP6 (Pentium IIもしくは以降のIA-32プロセッサ版)
- Java System Directory Server 5. 2(別途購入)

Java System Identity Synchronization for Windows プラットフォーム

構成	要件		
	Solaris 9 Solaris 8	Microsoft Windows 2000	Microsoft Windows NT
Java System Identity Synchronization for Windows Core			
Java System Directory Server 5.2 Connector			
Microsoft Windows 2000 Active Directory Connector			
Microsoft Windows NT Connector	-	-	

詳細

Sun Java™ System Identity Synchronization for Windows 1. 0の詳細については、sun.co.jp/software/ をご覧ください。

サン・マイクロシステムズ株式会社

本社	〒158-8633	東京都世田谷区用賀4-10-1	SBSタワー	電話(03)6717 5000(代)
山王オフィス	〒100-6160	東京都千代田区永田町2-11-1	山王パークタワー12F	電話(03)4232 2400(代)
中部支社	〒460-0002	名古屋市中区丸の内2 14 4	エグゼ丸の内507	電話(052)203 1233(代)
大阪支社	〒541-0052	大阪市中央区安土町1-8-15	野村不動産大阪ビル5F	電話(06)6265 5700(代)
九州支社	〒814-0001	福岡市早良区百道浜2-1-22	福岡SRPセンタービル3F 308	電話(092)834 0100(代)
つくば営業所	〒305-0032	茨城県つくば市竹園1-6-1	つくば三井ビルディング11F	電話(0298)61 2210(代)
豊田営業所	〒471-0833	愛知県豊田市山之手5-73-1	山之手ビル7F	電話(0565)25 5700(代)
ホームページ	http://sun.co.jp/			

© 2003 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. Sun, Sun Microsystems, サンのロゴマーク, Java, Java Coffee Cupのロゴマーク, Solarisは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。すべてのSPARC商標は、米国SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC商標がついた製品は、米国Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャに基づくものです。

資料の内容は、お断りなしに変更することもありますのでご了承ください。

